

逆境は、チャンス！

全体最適のマネジメントを活用した生産性革新

～マネジメントが変われば、現場も変わる。『良い流れづくり』がポイント～

アメリカによる「相互関税」の発表、ウクライナ等の問題など、日本経済全体へのダメージが懸念されるなか、厳しい経営環境にある中小企業は強い企業として成長・変化していくこと、生産性を向上・革新させることが求められています。

そのためには、『良い流れ』『良い現場』を創出し、生産性を革新させる中核人財『良い人財』を計画的に育成することが急務になっています。

この現状を鑑み、『全体最適のマネジメント』をテーマとするセミナーを開催します。

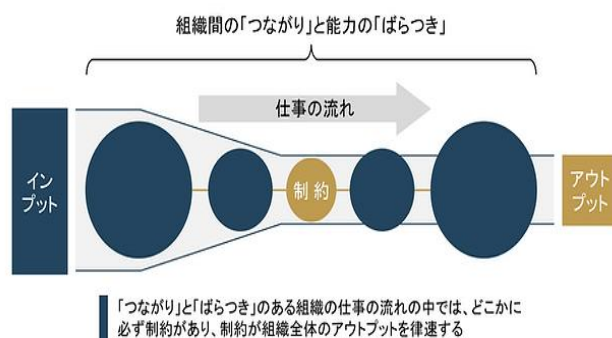
講演のポイント

- ・ TOC（制約理論）とは何か
- ・ 組織間の『つながり』と『ばらつき』
- ・ 体験実験（制約は、活用されているか）
- ・ 逆境からの飛躍の事例と実現のプロセス
- ・ なぜ、中小企業だから成果が出るのか

等

TOC（Theory Of Constraints：制約理論）とは

複雑でしがらみの多い問題でも、全ての問題に取り組むのではなく、ごく少数の根本の問題（制約条件）に取り組むことで、最小の手間と時間で改善効果を得られるマネジメント理論。



令和7年

6/4(水)

13:30～16:00

- ・ 定 員 ： 40名(先着順・要事前申込)
- ・ 受講料 ： 無料
- ・ 開催形式：Web(zoom)
- ・ 受講方法等は
こちらからお申込み ⇒



講師紹介



(株)Goldratt Consulting Japan パートナー

飛田 甲次郎氏

(元オムロン(株)執行役員常務ものづくり革新本部長)

元オムロン(株)執行役員常務。ものづくり革新本部長などを歴任。また、関西IE協会副会長、日本電機工業会大阪支部長なども歴任。全体最適のマネジメントを取り入れることが、「失われた20年」を取り戻し、自信と活力溢れる日本企業になることに繋がると確信している。TOCを、分かりやすく説明することに定評がある。